

## 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和 6年 3月 13日 (令和5年度)

事業所名 放課後等デイサービス あさざり細江 職員 8名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	0	7	せまい。適切さに欠ける狭いながらもパーテーションで使い分けている。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	3	2	多くはないが、対応できる人数である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	2	5	バリアフリー化されている所もあるが、そうでないところもある。バギーが入る車が欲しい。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	5	0	職員の勤務時間等により毎回全員が参加できない。議事録で補足、意見を聞く場を設ける。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	1	取り入れたい活動アンケートを行い、ご意見を基に振り返り・改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等に公開しているか	8	0	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	研修案内を掲示するスペースを設け、情報発信をしている。内部研修を職員会議内に設ける。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2	0	
適切 な 支 援 の 提 供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	7	0	アセスメントツールを使用しているか分からない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2	0	今年度は保育士を集めて立案し、各職員に図るようにした。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	3	1	子どもたちの年齢と共に下校時間が変化するため、活動の工夫が難しかった。外に出ることが主な活動であったが、室内での取り組みを見直していく
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1	0	眠たい子にパーテーションをしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0	

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	職員の出勤時間が異なるため、午前中に打ち合わせで叩き台を作り、午後から出勤する職員に伝え意見を求め、情報を共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1	0	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2	0	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	0	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	5	2	1	やっているが自分は知らなかった。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	0	決まった方をお願いしています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1	0	左記にある内容は行っているが、今後は学校と情報共有の場を増やしたい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	5	2	1	現在はいない。 今後受け入れる場合行っていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4	1	今年は、新小学一年生がいなかったため、非該当。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	5	2	0	対象者なし。 今年度初めて卒業生がいるため行っていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	5	2	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	2	障害のない子とのかかわりなし設定された場はないが、図書館で読み聞かせの会に共に参加したり、公園で一緒に鬼ごっこしたりすることはある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	3	1	情報は来ているが、積極的参加はしていない。今後参加できるように職員体制を整えていく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	3	0	

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	4	1	ペアレント・トレーニングが分からない。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1	0	
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0	その都度声がかかけられれば行っています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	1	今年度一度保護者のお話会を開いた。不足しているのでどちらでもないとした。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	苦情等職員で話し合いをし、迅速に解決できるように心掛けています。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2	0	1 2月からブログを開始した。加えて、玄関に掲示の工夫を直近ではじめたばかりなので今後努力する。
	③5	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	1	0	
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	0	4	
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	5	3	0	保護者全員には伝わっていない。繰り返し伝える。玄関に設置している。周知が曖昧であるため、今後努める。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1	0	全員が参加できるよう工夫する。あさぎり細江独自の訓練だけでなく、年2回は同じ建物にある就労事業所と合同で行い、互い利用者と共に避難する機会を設けている。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、定説な対応をしているか	7	1	0	毎月の職員会議内身体拘束の有無や事故・怪我、ヒヤリハットの報告をし、職員の意識を高める研修をしている。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0	同意書を作成し、合意していただいた上で支援計画に記載している。

④2	食物アレルギーのある子について、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	2	保護者経由で状況を理解している。 現時点では、保護者からの情報で医師の指示書とはしていない。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1	0	